

みずほCustomer Desk Report 2018/02/26 号(As of 2018/02/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.01
TKY 9:00AM	106.84	1.2326	131.70	1.3949	0.7838
SYD-NY High	107.14	1.2337	131.85	1.4005	0.7848
SYD-NY Low	106.52	1.2280	130.94	1.3904	0.7804
NY 5:00 PM	106.89	1.2297	131.43	1.3969	0.7845
NY DOW	25,309.99	347.51	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	7,337.39	127.30	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,747.30	43.34	米国2年債	2.2400	▲1.20bp
日経平均	21,892.78	156.34	米国5年債	2.6192	▲3.86bp
TOPIX	1,760.53	14.36	米国10年債	2.8651	▲5.29bp
シゴ日経先物	22,035	320.00	独10年債	0.6505	▲5.45bp
ロンドンFT	7,244.41	▲7.98	英10年債	1.5205	▲2.65bp
DAX	12,483.79	21.88	豪10年債	2.8270	▲1.75bp
ハンセン指数	31,267.17	301.49	USDJPY 1M Vol	8.85	▲0.73%
上海総合	3,289.02	20.47	USDJPY 3M Vol	8.60	▲0.34%
NY金	1,330.30	▲2.40	USDJPY 6M Vol	8.71	▲0.29%
WTI	63.55	0.78	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	195.99	0.72	EURJPY 3M Vol	8.83	▲0.40%
ドルインデックス	89.88	0.15	EURJPY 6M Vol	8.95	▲0.23%

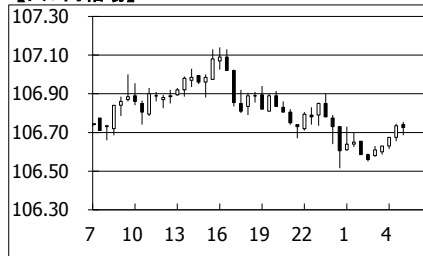
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月23日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	1月 1.4%/0.9%/0.4%	1.3%/0.8%/0.3%
	19:00	欧 CPI/コアCPI(前年比)・確報	1月 1.3%/1.0%	1.3%/1.0%
	19:00	欧 消費者物価指数(前月比)	1月 -0.9%	-0.9%
2月24日	00:15	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁 講演		
	03:30	欧 メスター・クレーブランド連銀総裁 講演		

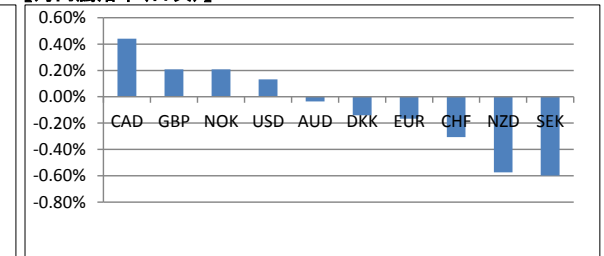
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月26日	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
2月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 648K	625K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.70-107.70	1.2260-1.2350	130.90-131.90

【マーケット・インプレッション】

先週末海外時間のドル円はやや下落。米長期金利の低下を受け、ドル円は107円近辺から106円半ばに下落したものの、ニューヨーク終盤にかけて株価の上げ幅が拡大すると、ドル円は106円台後半に反発。本日のドル円はレンジ内で推移すると予想。今週は米1月個人消費支出やISM製造業景況指数等の主要経済指標の発表や米FRBパウエル議長の議会証言が予定されている。主要イベントの前に積極的な取引を控え、様子見ムードが強まるだろう。本日のドル円は107円を挟んだ水準で方向感なく推移しそうだ。

東京	前日海外時間からドル売り地合いが続く中、朝方のドル円相場は106.66まで軟化。その後発表された本邦1月CPIは総じて良好な内容となるも、市場の反応は限定的となり東京時間のドル円は106.84レベルでオープン。見なしゴトー日となったこの日、本邦実需勢による外貨買いフローが散見される中でドル円は仲値にかけて107円ちょうど付近まで上昇。その後ややレベルを下げる場面もみられたものの、日経平均株価が午後にかけて上げ幅を更に拡大させるとドル円は一時107.03まで上昇。その後も堅調推移が続き、結局106.99レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は106.99レベルでオープン。新規材料に欠ける中、ドル円は高値107.14まで上昇する場面も見られたが、米長期金利の低下に106.67まで売られ106.72レベルでニューヨークへ渡った。ユーロはECBIによる金融政策正常化への予想から強含んだ。1.2305レベルでオープン。昨日発表された1月に開催されたECB会合の議事要旨をうけて早期金融政策正常化観測が再び台頭してきたことや独第4四半期のGDP改定値が前年比+2.9%と輸出の好調を背景に経済の堅調さが確認されたこと等に高値1.2321を付けた。その後は1.23台を挟んでの展開となり1.2298レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トルジャー・西海)
ニューヨーク	特段の目立ったニュースは無いものの、ゴトー日絡みでドルがやや買われる展開にドル円は107.14まで戻すが、上値は重く、その後は反落し106.72レベルでNYオープン。朝方は、来週28日に予定されていたパウエル新FRB議長の下院での議会証言が27日の10時からに変更されたが、ドル円の反応は限定的となった。その後は一旦ドル買いが強まる局面もあったものの、ロンドンフィックスに掛けて売りが強まり、安値106.52まで下落。NY時間11時に発表された半期に1度のFRB報告書では2月のはじめからの株式市場の乱高下に関しては強い懸念はなく、金融政策に変化がないことが明らかになり、ドル円は106.73まで反発。その後再び106.55まで反落する場面が見られたものの、終盤に掛けて株式市場が大幅に上昇する展開に、円売りが優勢となり、106.94まで戻し、106.89レベルでクローズした。一方、海外市場でドル買いが強まったことから安値1.2280まで下落したユーロドルは、その後下げ渋り1.2298レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、ロンドンフィックスに掛けてユーロドルが下落する展開にユーロドルも1.2285まで連れ安の展開。その後は新規材料に欠ける中、1.23ちょうど付近での推移が続き、1.2297レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 末木・鶴田